

現代中国学会関東部会 2024 年度定例研究会

2025 年は戦後 80 周年の区切りの年ですが、世界ではいまなお戦火が続いています。現在の戦争が各国・地域の社会をどのように変え、また世界にどのような影響を与えていくのか、長期的視点からも注視していく必要があるでしょう。今回の現代中国学会関東部会定例研究会は、あらためて戦争と社会の関係を考えてみたいと思います。

まず 2023 年末に『中国戦時秩序の生成』を上梓された笹川裕史氏にご著書の内容のエッセンスを語っていただき、その後、浅岡善治氏にソ連史の立場からご報告いただきます。中国社会の変容を中国だけをみるのではなく、ソ連との比較を通じて新たな気づきを得たり、理解を深めたりしたいと思います。

日時： 2025 年 3 月 1 日（土） 15：00-17：20

場所： 立教大学池袋キャンパス 9 号館地下 9B03 教室

テーマ： 戦争と中国社会の変容 —ソ連史との対話

15：00—15：10 開会の辞、趣旨説明

15：10—15：40 笹川 裕史（上智大学）

「中国戦時秩序」の様相と動態—〈生成されるもの〉と〈失われるもの〉

15：40—16：10 浅岡 善治（東北大学）

「総力戦」の時代とスターリン体制

16：10—16：30 コメント 衛藤 安奈（東海大学）

16：30—16：50 報告者からの応答

16：50—17：20 質疑応答

司会 泉谷 陽子（フェリス女学院大学）

*懇親会を予定しています。会場・会費等は未定、当日決めます。